

## デイ便り



### 「これ何や？」

梅雨入りし、不安定なお天気ですが、皆さま元気に来所していただいています。

今月はラベンダーの壁紙づくりをしました。

「おいしそうなぶどうやなあ」「これ花か？」等ユニークな会話の中、仕上げてくれました。

## <暮らしのひとコマ>

Aさんは寝たきりの方で、言葉はわずかしが話せない。「おはよう」「あーしんどい」などが口の動きでわかる。「さよなら」と言うと手を振ってくれる。目の表情で何かを訴えていらっしやるのはわかるが、聞き取れない。コミュニケーションをとるのが難しい方だと思っていた。

ある日私はAさんのお部屋で、作業していた。その時の私の手首は見事に真っ黒に日焼けしていた。先日の休みの日に、海でキス釣りをしていたからだ。一日釣り糸をたれたにもかかわらず、釣果はたった一匹。その貴重な一匹を家に持ち帰って義母に塩焼きにして食べさせた、という話をAさんにした。その間Aさんは、目をまん丸にして聞いていて、私の話しを理解しようと努力してくれているように見えた。

実はAさんは何でもわかって  
いるんだ、言葉にできなくとも  
自分の周囲で起きている事も  
会話もちゃんとわかっているん  
だな、と思った。(M・Y)



### 「病床削減」「高齢者医療費負担倍化」は許せない！

新型コロナ禍で国民が集会やデモで意見表明をしにくい中、この5月、6月、国会では国民の医療確保に逆行する2つの大きな法律が成立しました。一つは、「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律案」、もう一つは、「全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律案」。前者は「病床削減推進法案」、後者は「高齢者医療費窓口負担2倍化法案」といわれます。病床削減は、消費税を財源とした補助金で病床削減を支援することを法定化、今年度195億円が計上され、削減される病床は1万床規模にのぼるとのこと。高齢者医療費負担2倍化は、現在75歳以上の窓口負担原則1割(「現役並み所得」は3割)について、年収が単身世帯200万円以上、夫婦世帯320万円以上の高齢者は2割負担とするというもの。今年ある総選挙ではこれらの政策を問い直し、施行をストップさせましょう。

(施設長 田畑安敏)

### 編集後記

今年の春から家庭菜園を始めてみました。ミニトマト、大葉、ピーターコーン、しし唐を育てています。ミニトマトは6月に入ってから実が赤くなり食べごろになってきました。大葉も大量に葉を付けて毎日の様に家族で食べています。ピーターコーンはまだ早いかな？けどぐんぐん伸びています。しし唐はまだ芽すら出していない。春はちょっと涼しすぎたかな？

それぞれ成長過程で間引きを行っています。少し悲しくなります。花が咲き、やっと実ったのに、おいしさや見栄えを求めて厳選された実だけが残る。間引きした芽や実たちも大きくおいしくなる可能性があるのに…。間引きした実でもおいしくいただける方法があれば知りたいですね。(M)

